

## 第11回道泉地区協議会 結果について（報告）

日 時	令和元年7月11日（木）19:00～20:10 於：道泉地域交流センター
配布資料	別添のとおり
<b>【議題】※司会進行：事務局</b>	
1 あいさつ	
加藤道泉連区自治連合会会長より挨拶がされた。 教育部長より挨拶がされた。	
2 参加者紹介	
事務局から、本日は協議会役員、各グループ代表者、小・中学校代表者、地域代表者、オブザーバー合わせて17名の出席があることが報告された。	
3 にじの丘学園通学支援方法等について	
事務局：6月7日に市から提案があった事項について、地区協内で6月21日に会議を行い、別添資料のとおり、課題・要望を挙げた。その中で対応可能なものは、対応していただき、本日具体的に回答いただけるものは回答していただきたい。	
市教委：まず、にじの丘だよりの記載について、提出していただいたアンケートを含め、皆様からいただいた様々な意見を真摯に受け止めた結果、これまでの議論を踏まえ、支援のありかたについての方針を示したものである。	
次に、安全な通学について、安全対策については、通学路の安全対策、路線バス活用時の安全対策、バス車内での安全対策の3つのポイントがあると考えている。その中で行政が担っていくべきもの、地域の力をお借りしなければいけないものを精査している。	
バス停については、京町や滝之湯から乗車できる可能性がないかバス事業者と協議しているところである。パーティでの乗り換えがスムーズにできるかどうか、ダイヤの調整等が必要になるため、それを含めて協議している。バスの中での安全対策についてもバス事業者と協議中であり、できることとできないことを示していきたい。	
校区外通学について、我々としてはにじの丘へ通っていただきたいという思いが根底にあるが、その中で通学距離の負担軽減のために提案したことである。あくまで個別対応となるので、距離によっては陶原小学校という選択肢も出てくると考えられる。	
運行協力金の無償化については、瀬戸市全体及びにじの丘校区全体での通学方法を鑑みた結果、路線バスを活用する場合は運行協力金で負担をいただきたい。	
4 その他	
<b>質疑応答</b>	
質問1：安全対策について、回答としては「まだ検討中」ということか。	
センター長：前回市教委からも説明があったように、今後地域と協議していく部分である。	

事務局：他市町村で、通学路に監視カメラをつけてほしいという意見があるようだ。バスに乗っていない間の通学路に、ぜひ監視カメラをつけていただけたらと思う。

質問2：京町や滝之湯のバス停から乗車できるかどうかのスケジュール感はどのようになっているか。

回答2：昨日、バス事業者と、京町や滝之湯から乗車した場合で、パーティで乗り継ぎをできるようにするためのダイヤについて協議してきた。ただ、バス事業者も、電車の乗り継ぎについても押さえた上でのダイヤ変更をしないといけないので、それを踏まえた上で9月ごろには返答できると予定している。

質問3：通学のシミュレーションを行ってもらえないか。パーティで百人単位の子供たちがバスへ乗車する場合安全に乗車できるのか、祖母懐橋で下車する際にごった返すことはないか。そういった課題の搾り出しを協働して行っていったらと思う。

回答3：通学のシミュレーションは、我々もバス事業者も同様の認識である。バス事業者にもご協力いただき、年明けに行いたいと考えている。

質問4：子ども見守りシステムについて、校門以外にもパーティや祖母懐橋などバス停にコイルを埋め込んでもらえないか。

回答4：土地の所有者・管理者と相談の上、検討する。

質問5：通学路が確定した際には、もう一度安全点検を行ってもらえないか。また、部分的にはすでに実施していただいているが、通学路を示すグリーンベルトや道路標識を設置していただくことや、一時停止で止まらない車が地域として多くあるので、ハンプを設置することを検討してほしい。また、側溝の蓋も開いているところは塞いでほしい。雨が降っている時に側溝にはまると、最悪の場合、そのまま流されてしまう可能性もある。

回答5：交通安全プログラムをベースに考えているが、学校区が広がっていくので、検討材料の一つかと考えている。グリーンベルト、道路標識、ハンプ、側溝の蓋についても道路管理者と相談し、また場所の特定から行っていく必要がある。

質問6：なるべく全員が座れるようにしてほしいが、そうでない場合、低学年優先でバスに座れるよう指導してもらえないか。急ブレーキになった時に、吊革に手が届かない子どももいるし、ランドセルや水筒を持っている子どもたちが、ドミノ倒しのような可能性がある。

回答6：パーティから祖母懐橋まではほぼ子どもたちが乗車すると想定しているが、車内での振舞いについてはある部分教育の一環かと考える。乗降時や車内でのマナーについては、交通安全教室などで指導していく予定である。

質問7：校区外通学の条件の「概ね2キロ」というのはなくなったか。

回答7：それは変わらず残っている。

意見1：前向きににじの丘学園開校へ向かうため、保護者の話を聞く場を設けてほしい。

事務局：そのために各代表者が出席し、地区協議会を行って、市と対話している。

センター長：保護者から地区協議会の方へ提案いただくのも今まではお断りしていたが、やはり保護者の意見というのは重要であるので、そういった提案も受け入れるという方向になっている。ただ、連絡もなくいきなり自治会長の家へ訪れ、意見を言いに行ったことがあつ

たようだ。自治会長の家族も急なことで驚いていたようである。もし何か意見がある時は交流センターに連絡してからにするとか、電話を一本入れてからにする等していただきたい。安全対策については、これから協議を進めていかないといけない。そこには保護者の方ももちろん参加してほしい。そしてその見守りにも当然保護者が加わっていただきたい。今まで高齢の方がスクールガードをやっていたが、これからはそういうわけにはいかないので、ぜひ保護者も率先して協力してほしい。

自治会長：行政と地域で安全対策を進めていくという話であるから、地域としても協力するところは協力していきたい。ただし、我々がスクールガードをやっている、保護者を一度も見ることがない。そのあたりはPTAから保護者に伝えていただいて、保護者が率先して見守りを行い、バックアップの部分で我々が協力するのがあるべき姿ではないか。

意見2：交通委員を3年間やっているが、保護者の方は一度も、一人も来ていない。会長が言われるとおおり、保護者にも協力していただきたい。

意見3：自治会やボランティアを通じて20名ほどで、10年以上見守りを行っている。その間保護者の協力は一度もない。学校が遠くなるということで、保護者が率先して見守りを行った上で、地域が協力するという形で、子どもたちの安全を確保していきたい。お願いするばかりではなくて、自分の子どもが通う通学路であるから、保護者もそこを認識していただき、一緒に安全確保に努めていきたい。

意見4：同感です。

#### ○通学路（案）について

P 長：にじの丘学年PTA準備委員会が立ち上がり、開校1年目はとにかく通学の安全対策を徹底してやっていこうという話し合いをした。道泉地区は、地域の方に見守り活動で大変協力をいただいている。他の学校の話を見ると、保護者が見守り活動に参加していないのは道泉だけのようである。その部分はPTAとしても課題に思っている。今年、校長先生からも、1日でもいいので子どもの登下校に付き添っていただくよう働きかけたところである。

地図上の○印が、安全対策が必要であると思われる部分である。PTAとは関係なく保護者が自主的に見守りを行ってくださっている箇所もある。共働きが多いという時代であるということもあるが、開校に向けてもっと呼び掛けを行っていきたい。

校長：道泉学級の午後に、PTA、教員で地域の方のご協力のもとにじの丘学園建設地までの通学路を歩き、ご意見をいただいた。ここに書かれている線は、小中学生共に歩くことを想定した地図である。○印もPTAの役員会で話し合っただけの部分である。四角枠内も、素人目線ではあるが、要望として記入した。保護者からは「やっぱり市役所へ向いて歩くのは遠回りになる」というご意見はもちろんある。本当は、ぐるっぺの前の道を歩いてパルティまで行けると一番良いが、駐車場の前の道が大変狭く、危険になっている。役員会では、すぐには難しいかもしれないが、少しでも時間帯規制ができれば安全に通えるのではないかという意見が出た。だが、実際に4月から子どもたちが通うわけであるから、ぐるっぺの前を下るといった別の道も選択肢にいれないといけない。今後、学校

としては点検結果を踏まえて、9月には通学路を決め、10月の就学時検診で通学班編成に向けたチェックをし、1月の入学説明会で通学班のお知らせをするというところに向かっていきたい。正直、このスケジュール感でやっていかないと、厳しい。これはすべてパーティセとへ向かう通学路である。シミュレーションは行う予定だが、バスが決まらないからいったん年間行事からは外した。行うなら2月にしか行えないことを考えると、まず幹となる通学路、通学班を決めることを今からやっていかないと間に合わない。防犯カメラの設置などはやっていただけたら大変ありがたいが、それよりも短期目標として、まず整理すべきところを整理し、決めないといけないことを決めていかないといけない。夏休みにも、7校ではにじの丘に向けて様々会議をしていく。その中に通学路のことも入っている。また、なんとか道泉の保護者も多くの方に○印に立って見守りを行っていただけるよう、声かけを行っていく。

意見1：ぐるっぺの前の坂は、なぜか時間規制がかかっている。その経緯を調べることで、ぐるっぺの前の道の時間規制に繋がられないかと考えている。

意見2：交流センターがあるから、午前中の規制はできても、夕方の時間規制はできない。

校長：朝はぐるっぺの駐車場を通れるといいが、夕方は子どもが駐車している車を触るといけない。道泉の坂を通っていくのも大変なので、今回の想定通学路となったが、おそらく、約200人のうち70パーセント程度の子どもの前まで来ることになるから、ぐるっぺの前が安全に通れるといいなと思って今回の地図となっている。ただ素人目線のものであるから、地域の方や市教委と相談して、これから協議していきたい。

次回は未定